



第6期幸区区民会議第12回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議 事 次 第

日時 2017年11月21日（火）18時半から

場所 幸区役所4階第4会議室

1 開会

2 議題

- (1) 魅力の発信方法の検討について
- (2) 提言内容の検討について
- (3) フォーラム実施内容の検討について

3 その他

- (1) 平成29年度区民会議意見交換会の開催について

4 閉会

《配布資料》

- 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
- 資料2 魅力の発信方法・主体について
- 資料3 提言の素案
- 資料4 第6期区民会議フォーラム実施内容案
- 資料5 平成29年度区民会議意見交換会の開催について

参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

参考資料2 第11回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録

参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿

《第12回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）獲得目標》

- ・魅力の発信方法についての検討
- ・提言内容の検討
- ・フォーラム実施内容の検討

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①
	5月26日 (金)	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証② ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認②
	6月27日 (火)	第8回部会	・現地調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認②
	8月1日 (火)	第9回部会	・発信していく地域の魅力についての確認③ ・発信に向けた調査についての確認① ・「第4回区民会議」報告内容等の検討
	9月7日 (木)	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告
	9月19日 (火)	第10回部会	・発信していく地域の魅力についての確認④ ・区民祭におけるヒアリング調査についての確認
	10月17日 (火)	第11回部会	・区民祭におけるヒアリング調査の振り返り ・魅力の発信方法の検討① ・提言内容の検討①(提言の論点)
	11月21日 (火)	第12回部会	・魅力の発信方法の検討② ・提言内容の検討②(提言素案) ・フォーラム実施内容の検討①
	12月19日 (火)	第13回部会	・提言内容のとりまとめ(提言案) ・フォーラム実施内容の検討②
	1月	第14回部会	・「第5回区民会議」報告内容等の検討
	2月・3月	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認
		第6期幸区区民会議フォーラムの実施	
2018年度	4月・5月	報告書のとりまとめ	
	6月	区長へ報告書の提出	

魅力の発信方法と主体について

1 発信方法について

魅力を知ってもらうための発信方法については、区民祭調査における回答でも整理したとおり、SNS・HP等の電子媒体による発信及び広報誌・情報誌・チラシ等の紙媒体による発信の大きく2つに分かれると考えます。それぞれのメリットや課題等を踏まえ、具体的な発信の手法についての検討が必要です。

また、発信する内容（コンテンツ）については、これまで部会で確認してきた3つの魅力が基本となりますが、ターゲットにより興味をもってもらうためのプラスアルファの工夫についての検討が必要です。

前回の部会での意見

○発信媒体について

- ・発信方法としては、どちらか片方ではなく紙媒体とSNSの両方を活用すべきと考える。
- ・SNSは利用している特定の人に限られてしまう。市政だよりなどは結構見られており、それを見てイベントに来る人も多い。
- ・冊子等は、短期間で情報を更新することが難しいため、イベント情報等についてはSNSなどで発信するのがよいのではないか。
- ・紙媒体と電子媒体を別々に発信するのではなく、メインとなる区の魅力をまとめた冊子等を作成し、それをSNSやHPといった拡散したり、フォローするなど、紙媒体と電子媒体をうまく関係させながら発信するのがよいのではないか。

○発信内容（コンテンツ）について

- ・宮前区で発行されている「ぐるっとみやまえ」はグルメなど幅広く載っているのが、楽しい誌面になっていると思う。
- ・現状の幸区の3つの魅力に限定してしまうより、もう少し読んで楽しく、実際に現地に行きたくなるような形にした方がよいのではないか。
- ・部会で検討してきた3つの魅力をメインとし、そこに1つ2つ加えていけばよいと思う。
- ・商業の観点で言うと南河原地区でハッピーサークルのような団体とタイアップするとか、ラゾーナ等の商業施設の情報も入れながら、街の情報を発信してもらう形がよいと思う。
- ・魅力に関わる具体的な取組や活動を行っている関係団体の紹介も必要だと考える。

○発信場所について

- ・冊子やチラシについては、子育て世代がよく行くところに置く必要がある。民間の商業関係の方にメンバーに入ってもらえれば、商業施設等に置くことの協力が得られるかもしれない。

2 発信主体について

魅力の具体的な発信を行うにあたって、発信するための媒体を作成したり、情報を発信したりする主体について確認する必要があります。まちの活性化に向けた効果的な情報発信を行うためには行政だけで実施するには課題があることから、その課題を解決するために、魅力の発信において地域住民にどのようにかかわってもらうかについての検討が必要です。

前回の部会での意見

○発信主体について

- ・「ぐるっとみやまえ」の作り方と宮前ラボという団体のメンバーを参考にして、メンバーをピックアップして、編集委員会を作って、発信したらよいのではないか。
- ・ハッピーサークルのような団体とタイアップするとか、ラゾーナ等の商業施設の情報も入れながら、街の情報を発信してもらう形がよいと思う。
- ・タウンニュースを発行しているような発信方法のノウハウを持っている民間の会社にも入っていただいて、そこに一般の人が入って活用してみる価値はあるのではないか。
- ・発信主体としては、地域の魅力等を広報している人、子育て関係の支援活動を行っている人、文化活動をしている人、マスコミ関係（タウン誌がメイン）、商業関係の人などをメンバーに組織体をつくるのがよいのではないか。
- ・今後の活動として、有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信する継続的な組織をつくる必要があるのではないか。

意見交換メモ

1 これまでの主な調査・審議の経過

①審議テーマ検討にあたっての調査・審議の経過

【審議テーマ選定の際に出た主な意見】

- ・重要なのは様々な地域の魅力を発信していくこと
- ・「どの分野を発信」と限定して考えることではないのではないか

【魅力発信の目的】

最終的な目的は幸区に住み続けてもらうことによりまちの活性化につなげる

②発信する魅力に関する調査・審議の経過

【魅力発信のターゲット】

30,40 代の子育て世代を中心とする
(30,40 代に PR することにより親世代にも広がる)

【地域資源・魅力について】

- ①子育て環境、②子育て支援、③文化と商業の3点が充実していることを幸区の魅力として整理した。
- ・「子育て環境」の大きな要素が、公園である。「子育て支援」は施設やサービスの充実がキーワードだと思う。また「川崎駅西口」の3点セットは落とせない。

③発信方法に関する調査・審議の経過

【魅力の発信媒体について】

- ・発信方法については、紙媒体と SNS の両方を活用するべきと考える。
- ・メインとなる魅力発信の冊子等を紙で作成し、それを SNS で拡散したり、補足するのがよいのではないかと
- ・(発信をする際に) 現状の幸区の 3 つの魅力に限定してしまうより、もう少し読んで楽しく、実際に現地に行きたくするような形にした方がよいのではないかと。

【魅力の発信主体について】

- ・発信にあたっては、協働が大事である
- ・「幸区を広報してくれる人」、「文化活動をしている人」、「子育て関係の人」、「マスコミ関係(タウン誌)」、「商業施設」にも協力してもらい、発信主体の組織をつくるのがよいのではないかと。
- ・有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信していく。継続的な組織をつくる必要があるのではないかと。

2 調査・審議をふまえた提言の素案

提言1(案)

幸区に住み続けてもらい、まちの活性化につなげるため、30,40 代の子育て世代に対して「充実した『子育て環境と支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力を伝えるよう発信すること

<趣旨のポイント>

- ◆魅力発信をすることで、幸区に愛着を持ってもらい、住み続けてもらう。また、まちの活性化につなげることを目的とする。
- ◆幸区の魅力を発信する対象は 30,40 代の子育て世代を中心とする。また、30,40 代に PR することにより親世代にも広がることを期待できる。
- ◆発信する魅力の内容としては、次の3つの魅力の要素が身近にあることを発信することで、ターゲットが幸区に愛着を持ってもらえると考えられる。
 - ①充実した子育て環境(夢見ヶ崎公園などの3大公園、特徴的な公園等)
 - ②充実した子育て支援(地域で子育てを助け合う風潮があること、各子育て支援センターで独自性を持った取組が展開されていること)
 - ③充実した文化・商業(ミューザ川崎、東芝未来科学館などの一流の文化や先端的な科学にふれあえること、大型商業施設が充実し生活利便性が非常に高く、交通アクセスも充実していること)

提言2(案)

ターゲットに伝わるように様々な媒体を使った、地域目線での魅力発信を行うこと

<趣旨のポイント>

- ◆発信方法について、ターゲットとなる世代は、紙媒体と電子媒体の両方を活用した魅力発信を行うことがより効果的になると考えられる。
- ◆地域の魅力発信については、行政だけでは発信できる内容に多様性を欠く懸念や、地域の多様で細かなニーズをとらえることに課題がある。
- ◆このような課題を解決し、地域の活性化につながるような魅力発信を行うためには、地域住民の協力を得ることが重要になると考えられる。
- ◆発信する魅力以外にも、ターゲットとなる人たちのニーズに合った、読んで楽しく、現地に行きたくするようなタウン情報なども掲載することで、より魅力的な発信ができると考えられる。
- ◆さらに、デザインや発信する場所・方法の工夫を図ることで、発信した情報をより受け取りやすくなると考えられる。
- ◆例えば、「幸区内の魅力を地域の人の目線で紹介する情報誌」が考えられる。また、紙媒体での情報発信を行う場合、多くの頻度で発信することが難しいので、最新の情報は SNS やホームページなどの電子媒体で補うことがより効果的になると考えられる。

提言3(案)

魅力発信を継続的に行えるよう、地域と行政が協働で発信を行うことにより、幸区に愛着をもってもらい、まちの活性化につなげる

<趣旨のポイント>

- ◆魅力発信をするにあたっては、より身近な情報を得られるよう継続的に実施していく必要がある。
- ◆柔軟に発信ができるように、情報発信の主体となる組織をつくることなどで、より継続的な発信を行うことができ、ターゲットにより愛着をもってもらえるようになると考えられる。
- ◆行政だけでなく「幸区を広報してくれる人」、「文化活動をしている人」、「子育て関係の人」、「マスコミ関係(タウン誌)」、「商業施設」にも参加してもらうことが想定される。

第6期幸区区民会議フォーラム実施内容案

1 目的

幸区区民会議での取組や提言内容等を報告し、地域の課題解決に向けて、より一層の区民の参加と協働を図るため、「幸区区民会議フォーラム」を開催する。

2 実施日時

平成30年3月3日（土）13:00～16:00

（市民活動交流イベント「さいわいみんなの交流広場」（10:00～16:00）と同日開催）

3 会場

幸区役所1階

4 内容

(1) 区民会議の取組紹介（「ステージ」で1時間程度実施）

例：A部会報告（15分）＋B部会報告（15分）＋質疑応答、会場との意見交換（30分）

(2) ブース出展（「出展・展示スペース」等で出展）

- ・活動紹介パネル等の展示
- ・これまでの調査で行ったアンケート・ヒアリングの結果の掲示
- ・第1期～第5期までの提言及び提言に基づく取組の紹介

5 その他

- ・今後のコミュニティ施策における「新たな仕組み」の構築に向けたシール投票等の実施

（第6期区民会議終了後の、参加と協働による地域の課題解決の「新たな仕組み」づくりに向け、市民活動団体の活性化等に資する意見収集を目的として実施するもの。）

平成 29 年度区民会議意見交換会の開催について

1 開催目的

各区の区民会議委員が集まり、これまでの自身の区民会議での活動を振り返り、検証するとともに今後のコミュニティ施策の検討につなげることを目的に区民会議意見交換会を開催します。

2 開催日時

平成 30 年 2 月 2 日（金） 18：00～20：30

3 開催場所

エポックなかはら 7 階大会議室（武蔵）
ＪＲ南武線「武蔵中原」駅から徒歩 1 分

4 内容（予定）

- ・ワークショップ（6 テーブルを想定、各テーブルにファシリテーター役のコンサルを配置）
- ・事前アンケートを実施し、意見交換会の内容にも反映（アンケートは第 6 期委員及び第 1 期～5 期の委員長、副委員長、部会長、副部会長にも依頼する。）

5 参加者

- ・参加を希望する各区第 6 期区民会議委員
- ・市民文化局コミュニティ推進部職員、各区企画課職員
- ・コンサルタント
- ・傍聴者（積極的な集客はしませんが傍聴は可能とします。）

[illegible]

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第11回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年10月17日（火）18：30～19：50
会 場	幸区役所 4階第1会議室
出席者	●区民会議委員（50音順） 神谷修委員（部会長）、阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、大野勝彦委員、佐野禎彦委員、高橋希委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ●事務局 幸区役所 田村副区長 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、中村職員、安藤職員（株）社会空間研究所 中島氏、田上氏
欠席者	なし
傍聴者	なし
配布資料	●資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ●資料2 幸区民祭におけるヒアリング調査結果 ●資料3-1 魅力の発信方法についての意見交換シート ●資料3-2 魅力の発信方法について ●資料4 提言のとりまとめに向けた論点 ●参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ●参考資料2 第10回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ●参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿 ●参考資料4 発信する幸区の魅力について ●その他 板橋区の事例（itappy） 宮前区の冊子（ぐるっとみやまえ）
議 題	（1）区民祭におけるヒアリング調査の振り返り （2）魅力の発信方法の検討 （3）提言内容の検討

決定事項	(1) 区民祭におけるヒアリング調査の振り返り ・ヒアリング調査の結果を共有した。 (2) 魅力の発信方法の検討 ・「魅力発信方法」及び「魅力発信の主体」に関して概要や課題を共有した。なお、主な意見として次のものが挙がった。 ・発信方法については、紙媒体と SNS の両方を活用するべきと考える。メインとなる魅力発信の冊子等を紙で作成し、それを SNS で拡散したり、補足するのがよいのではないか。 ・発信する内容については、これまで確認してきた 3 つの魅力をメインとするが、グルメ情報などを載せるのもよいかと思う。ただ、特定の商業施設を扱うにあたっては検討が必要である。 ・発信主体については、協働が大事であり、幸区を広報してくれる人や文化活動をしている人、子育て関係の人などに加え、マスコミ関係（タウン誌）や商業施設にも協力してもらい、発信主体の組織をつくる必要がある。 (3) 提言内容の検討 ・提言とりまとめの構成について次回、事務局にて作成する「骨子＋α」のたたき台をもって議論することとした。
会議の内容 及び 主な発言	(1) 区民祭におけるヒアリング調査の振り返り ●事務局より資料 2「区民祭のヒアリング調査結果」について説明した。 ○資料 2 による調査結果の確認及び参加委員からの報告を行い、意見交換を行った。 〈説明の概要〉 ・平成 29 年 10 月 7 日(土)10：00～16：00 にヒアリング調査を実施した。 ・調査対象は、区民祭に親子連れで来ている方、調査実施人数は 88 名。 ・部会で検討した発信していく魅力について、参加者全員が実感すると回答。 ・実感する魅力のキーワードとして、子育て環境が最も多く、夢見ヶ崎動物公園が一番多い回答である。 ・実感する理由は、部会で検討している魅力と同じ傾向である。 ・問 2 の発信方法としては、電子媒体としてはホームページや SNS が多数。SNS はスマホで気軽に情報を見られるので子育て世代に融合している。紙媒体としては、チラシ・広報誌という意見が多数である。チラシは保育園やポスティングされたものをよく見るといった声が多かった。地域の情報誌もよく読むという声があった。 ・問 3 について、情報の受け取り場所としては、民間商業施設が多数であった。その中でもスーパーやコンビニ等が多数で、区役所も来庁時に配布されると良いという意見もあった。

- ・紙媒体は、普段から行く場所での配布が受け取りやすい。

〈主な意見〉

【ヒアリング調査の結果について】

- ・隣で交通部会が子どもを対象に行っていて、その間に親御さんがヒアリング調査に回答してくれた。
- ・絵を見せたことで、誘導してしまった部分も多いと考えるが、夢見ヶ崎動物公園への関心が想像よりも高かった。
- ・チラシを置く場所について、コンビニやスーパーという回答が多かった。
⇒ 普段よく行く場所にチラシがあると、目につくので効果がある。
- ・調査を行ってみて、夢見ヶ崎動物公園は非常に人気があると実感した。幸区は、東京・横浜に出やすく交通の便が良いのにマンションの値段が安いので、暮らしやすい。
- ・紙媒体を受け取りやすいのが、スーパーやコンビニということで、地元の商店街では買い物をあまりしないのだという事も分かった。
- ・もう少し、分かりやすい聞き方をした方が良かったのではと感じた。夢見ヶ崎公園の回答が多かったが小さいながらも近隣に公園が沢山あるという意見が多かった。
- ・思いのほか、子育て支援センターに行かれている方がいた。
- ・道路が平坦で移動しやすいという意見もあった。
- ・年配の方が数人来られたので聞いてみたが、電子媒体から情報を得にくいという声があった。紙媒体は、新聞と一緒に入ってくるタウン誌には、隔々まで目をとおすという声もあった。
- ・チラシ・ポスター等はスーパーやコンビニにあると分かりやすいとの声も多かった。
- ・夢見ヶ崎動物公園の人気は高い。無料であることも大きなポイントになっているようだ。

（２）魅力発信に向けた調査について

- 社会空間研究所より資料 3-1、3-2 及びその他参考事例について説明した。
- 以上の資料をもとに、魅力の発信方法や発信主体について検討を行った。

〈説明の概要〉

【魅力発信方法】

- ・区民祭のヒアリング調査では、情報をキャッチしやすい方法として、電子媒体では SNS を使った発信やホームページ、紙媒体では広報誌やチラシという回答が多かった。

- ・メリットとしては、SNS や HP はターゲットの世代の利用者が多く、拡散性が高いので、成功した場合には効果が大きい。双方向のツールなので、受信者からの反応や発信者と受信者の相互の交流でつながりがもてる。インフォーマルな印象があって、関心をもちやすい。知り合いから拡散できるので、親近感をもちやすい。また、無料で行えることが多い。
- ・課題としては、特定の SNS の利用者を前提としていて、利用者が限定される部分がある。発信者の意図しない情報や誤った情報が混在して拡散される可能性がある。また、SNS に流れている情報なので、目に留まらないと拡散されない。
- ・新しい情報を定期的に発信する必要がある、継続的な運営を行う主体も必要になってくる。
- ・課題の解決方法の例としては、ターゲットの影響力を持つ人や拡散のためのテクニックを持つ人が発信に係る必要がある。SNS の運用とスキルのある人が発信に携わる。
⇒ 既存の幸区の媒体として、1 つが「川崎市区 7 区役所こども・子育て支援情報」をフェイスブックやツイッターで行ったり地域で活動している「幸区盛上げ隊」という団体がフェイスブックで行っている。

【板橋区の事例（itappy）及び宮前区の事例（ぐるっとみやまえ）について】

- ・「itappy」は、子育て支援という切り口で、区の魅力をまとめて発信している。
- ・「ぐるっとみやまえ」は、宮前区がつくっている宮前区の魅力を発信している冊子で、インターネットでも作っている。
- ・この 2 つの違いとして、「itappy」の方は行政だけで作っていて、基本的には公共に関する情報がメインで、行政がやっているところしか紹介が出来ないという制約がある。一方で、「ぐるっとみやまえ」は行政的な情報が載りつつも、10 頁からはご当地グルメなど、民間の施設もかなり紹介されている。
なお、23 頁に記載されているが、区民会議の提言に基づいており、「みやまえ情報ラボ」という団体を作って、区民の方が関わり行政と一緒に作っている。
なので、民間に係るグルメの情報など、気楽に取材して載せることが出来る。
- ・前回、宇都宮市の事例を紹介したが、市民と地域の各種団体と行政の協働で組織を作って発信をしている。他都市事例から見ても、組織体制を作って発信をしていくのが重要ではないかと思う。

〈主な意見〉

【魅力発信方法と魅力発信の主体について】

- ・発信方法としては、紙媒体と SNS の両方を使う。発信の主体については、住民のコミットが不可欠だと思う。その他の資料 2 つを見た時に両方よくできて

	いるが、宮前区の方が面白い。 ⇒ 「ぐるっとみやまえ」の作り方と宮前ラボという団体のメンバーを参考にして、メンバーをピックアップして、編集委員会を作って、発信したらよいのではないかと。宮前区の良い所は、グルメなど幅広く載っているので、楽しい誌面になっていると思う。 ・現状の幸区の3つの魅力に限定してしまうより、もう少し読んで楽しく、実際に現地に行きたくなるような形にした方がよいのではないかと。 ・タウンニュースを発行しているような発信方法のノウハウを持っている民間の会社にも入っていただいて、そこに一般の人が入って活用してみる価値はあるのではないかと。 ⇒ フリーペーパーを作っている会社と組むと良いと思う。 (社会空間研究所) 他都市の事例でも、組織の中に地域誌の人に入ってもらってやるっているところは多い。 (社会空間研究所) 前回紹介した宇都宮市は、商工会議所と商店街とマスコミ関係が入っている。 ・商業の観点で言うと南河原地区でハッピーサークルのような団体とタイアップするとか、ラゾーナやミュージア、サミットなどとコラボして、そういう商業施設の情報も入れながら、街の情報を発信してもらう形がよいと思う。 ・宮前区の冊子はとても楽しいが、私達が魅力発信にあげた三大公園や子育て支援というのをこれに当てはめた場合どうなるのか疑問。商業まで広げてなのか、幸区の場合カラーが地味になってしまうのではないかと。 ⇒ 「itappy」に近いものになってしまうのではないかと。幼稚園や保育園の保護者の会や公園など傾向が似ている。個人のお店をどこまで宣伝したらよいかわからない。 ・子育て情報のものは、おこさまっぷがしっかりとした作りでつくっているが、分業出来るのだろうか。 ・常時発信しなくては見なくなってしまうし、幸区内を駆けずり回ってネタ探しで取材するとしたら、誰がやるのかという課題がある。 ・SNS を利用している特定の人に利用者が限定されてしまう。市政よりも結構見られているが、「itappy」の方に内容に近い気がする。子育て広場で話を聞くと「何か月か前の市政だよりに出ていたので、来ました」という方もいる。街の情報も沢山求められていると思う。幸区の中でも最近おしゃれなカフェが増えてきているので、情報を集めれば発信するのも可能ではないかと。 (社会空間研究所) 冊子として幸区の魅力を紹介できるものが1つあって、それが発行されていて、それを補足する手法として SNS などを使える仕組みが1つあると良いと思う。冊子は、1年に数回、半年に1回しか更新できないと思う。
--	--

- ・ラゾーナやミューザと一緒にコラボするとお金の方でも少し負担してくれるのかと思う。
 - ・ラゾーナで頻繁にイベントをやっていると思うが、SNS の方で発信して、紙での情報媒体をフォローすれば良いと思う。
 - ・子育て支援センターや、こども文化センターを利用している方が多かった。これらの内容をもう少し細かく、行事等の発信や説明ができるようなものがあると思う。小倉こども文化センターにはプールがあって、地域の方は利用されているが、他の地域の方も利用しても良いと思う。そういう情報を詳しく説明できる冊子があっても良いと思う。
- (社会空間研究所) 概要としての魅力を説明し、幸区で色んな活動をされている各種団体の連絡先につなげる。更にその時の情報については、HP や SNS で紹介していくのがよいかと考える。
- ・宮前区の平均年齢が 2016 年 10 月 1 日現在で、43.5 歳となっているが、幸区の平均年齢は何歳なのか。
- ⇒ (事務局) 幸区は転入世帯が多いので、15 歳未満の人口と 65 歳以上の人口が伸びている。終わりまでに調べさせていただく。
- ⇒ (※事務局より会議終盤に報告) 先ほどの質問について、2016 年 10 月 1 日現在で幸区の平均年齢は 44.5 歳という統計結果で、川崎市の 43 歳に対して平均年齢が若干高い。
- ・宮前区の「ぐるっとみやまえ」は、第 3 版で初版から大分進化してきている。
- ・この部会では、子育て支援に絞ってスタートしているので、マップの中に子育て支援に関するものを載せて、公園を載せて、その詳細については、わかる範囲で別の紙面に載せるなりして、第 2 弾、第 3 弾で商業施設や商店を載せていく。
- ・今年度のテーマから取り組んでいって、1 つか 2 つ加えていけばよいと思う。

(社会空間研究所) 今年度どこまでつくるか、提言の中で方向性を示して、次の活動に移していく。

 - ・幸区でも 10 月・11 月とイベントがいろんな場所で開催されるので、SNS や HP のアドレスをイベントごとに作ってもらって、詳しい内容はそこで見られるようにする。

(社会空間研究所) 発信主体については協働が大事だという話が出てきているが、区内で活動している団体やタウンニュースとか、商業施設にも参加して欲しい。常時発信するのは大変だという課題があるが、発信主体には次のようなメンバーの組織体をつくるのがよいのではないか。

⇒ 地域の魅力等を広報している人

⇒ 子育て関係の支援活動を行っている人

⇒ 文化活動をしている人

⇒ マスコミ関係（タウン誌がメイン）

⇒ 商業関係

- ・具体的な例として、幸区の防災マップを利用して、その上におこさまっぷのデータを載せたら、立派な地図が出来上がるのではないかな。

⇒ 防災マップは、わかりやすく町内会や学校やスーパー・コンビニ等が載っている。

- ・そういったマップの置き場所に民間施設が有効的だと出ているが、幸区で過去にそういった冊子等を置かせてもらった経緯はあるのか。

⇒（事務局）会社と市・区が協定を結んで、市の PR に協力するようにしないとならない。

⇒（事務局）民間の商業関係の方に入っていただければネットワークが出来て、協力が得られるかもしれない。

（事務局）提言なので、例示や方向性などを示すことになると思う。そのため、あまり具体的にかちっと固めないで、方向性だけを提言して行ければよいと思う。

（３）提言内容の検討

- 事務局より資料４について説明した。

○前回までの調査審議の中で出た論点である、「1.魅力発信の目的」、「2.魅力発信のターゲット」、「3.発信する魅力の内容」について再確認をした。

○提言とりまとめの構成についての議論をし、次回、新たに構成のたたき台をつくっていくこととした。

〈主な意見〉

- ・提言のとりまとめの構成についての意見

⇒ 提言の構成について私のイメージだが、本編があって、資料編がある。本編の中に大きく２つあって、提言の骨子があって、Aを提言の骨子としたら、Bはその具体的な内容になる。提言の骨子の部分は、A4の１枚にまとめるイメージである。骨子は３本立てとなる。３本立てというのは、子育て環境・子育て支援・文化と商業の３本ではなくて、結論として骨子の１つ目として、「子育て環境・子育て支援・文化と商業」３つの魅力がある、２つ目として「発信の手法、主体」としてその主体は地域住民であり、手法の勉強をしていく、３つ目として、今後の活動としては、有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信していく。継続していく組織をつくる。

（社会空間研究所）本日議論した「3.発信する魅力の内容」を今日の議論の内容をからめてまとめ骨子に反映させる。

次回は、委員の意見を反映させ、校正を修正した。骨子＋αのたたき台を皆さ

	んで議論いただければと思う。
--	----------------

以上

だい 6 き さいわいくく みん かい ぎ い ん さん よめ い ぼ

第6期幸区区民会議委員・参与名簿

【委員(部会別、50音順)】

ひと に や さ しい こうつう あんぜん ぶ かい (A 部 会)		
(あんぜん あんしん ひと (安全・安心で人にやさしいまちづくり))		
審議テーマ		
○交通安全対策の推進		
	し め い 氏 名	す い せん だ ん たい 公 募 区 長 推 薦 推薦団体・公募・区長推薦
1	あ お き はる ひ こ 青 木 晴 彦	さいわいく い し かい 幸区医師会
2	あ べ の り ひ ろ 阿 部 法 弘	さいわいく き ょ う ぎ かい 幸区PTA協議会
3	い い じ ま た だ お 飯 島 忠 男	こう ぼ 公 募
4	お の は る こ 小 野 晴 子	こう ぼ 公 募
5	か ね だ さ と み 金 田 さ と み	さいわい ぐ かい 幸区子ども会連合会
6	ケオパサート ラツアミチャン	く ち ょ う す い せん 区 長 推 薦 (多文化共生)
7	さ か ぐ ち い さ お 坂 口 功	さいわい ぐ ろ う じ ん 幸区老人クラブ連合会
8	し ぶ た に た み え 渋谷 多美枝	こう ぼ 公 募
9	た か は し み さ こ 高 橋 美 三 子	さいわい ぐ ち ょ う づ ー ぷ 幸区交通安全対策協議会
10	は し も と ふ み お 橋 本 文 夫	さいわい か せ や ま かい 幸区加瀬山の会
11	み う ら た だ か ず 三 浦 忠 一	さいわい ぐ じ し ゅ 幸区自主防災連絡協議会

へいせい 29 ねん 10 がつ にちげんざい
平成29年10月1日現在

み り ょ く は っ し ん ち ゅ う づ ー ぷ ま ち の 活 性 化 部 会 (B 部 会)		
(さいわいく みりょくはっしん ちいき 幸区の魅力発信と地域コミュニティの活性化)		
審議テーマ		
○地域の魅力発信		
	し め い 氏 名	す い せん だ ん たい 公 募 区 長 推 薦 推薦団体・公募・区長推薦
1	あ べ と し こ 阿 部 稔 子	ひ よ し 日 吉 の わ ッ
2	い と う よ し み ち 伊 藤 善 通	こう ぼ 公 募
3	お お の か つ ひ こ 大 野 勝 彦	さいわい ぐ ほ ご し かい 幸区保護司会
4	か み や お さ む 神 谷 修	く ち ょ う す い せん 区 長 推 薦 (産業)
5	さ の よ し ひ こ 佐 野 禎 彦	さいわい ぐ め ん せ い い ん じ ょ う い ん き ょ う ぎ かい 幸区民生委員児童委員協議会
6	た か は し の ぞ み 高 橋 希	ひ よ し しょうてんがうれんごうかい 日吉商店街連合会
7	な か は ら と し こ 中 原 敏 子	さいわい ぐ し ゃ かい 幸区社会福祉協議会
8	な り か わ し ん い ち 成 川 慎 一	さいわい ぐ ち ょ う づ ー ぷ 幸区町内会連合会
9	ま つ い せ つ こ 松 井 節 子	さいわい ぐ ぶ ん か き ょ う ぎ かい 幸区文化協会

【参与(50音順)】

	し め い 氏 名	し ょ ぞ く 所 属
1	お だ り え こ 小 田 理 恵 子	かわさき し ぎ かい ぎ い ん 川崎市議会議員
2	か ぶ ら き し げ や 鏑 木 茂 哉	
3	か わ の た だ ま さ かわ の 忠 正	
4	ぬ ま ざ わ か ず あ き 沼 沢 和 明	
5	の だ ま さ ゆ き 野 田 雅 之	
6	や ま だ ま す お 山 田 益 男	
7	わ た な べ ま な ぶ 渡 辺 学	

	し め い 氏 名	し ょ ぞ く 所 属
1	た な か と く い ち ろ う 田 中 徳 一 郎	かなが わ け ん ぎ かい ぎ い ん 神奈川県議会議員